

9. 接続場所

インターネットへの接続場所の割合は図16（インプレス調査：既接続者のみ対象。N=950）、図17（CSJ調査。N=2,532）のとおりである。

図16では「自宅」と「会社と自宅の両方」を合わせた自宅利用者が7割以上に達しており、13（後述）で「趣味」を目的にインターネットを利用する人が半数にのぼる状況を裏付ける結果となった。また「会社と自宅の両方」（35%）が「会社（学校）」（23%）を上回っていることを考えると、会社や学校で利用する人たちの中には、仕事や研究で使っているうちに面白さを感じるようになり自宅でもインターネットを触りだした、という人が少なからずいると想像される。

一方、図17を見ると「勤務先」（39.9%）「自宅」（31.6%）「学校」（27.6%）と、バランスよく3つに分散された形となっている。そのため、自宅利用者の方が自宅外利用者よりも多いと判断される図16とは反対に、自宅利用者が自宅外利用者の2分の1に満たないととれる結果となった。

その大きな理由は両調査の「接続」の意味の違いにあると思われる。図17では調査時点でCSJのインデックスに接続した場所という意味であり、ふだんインターネットに接続している場所とはニュアンスが違ってくる。自宅と自宅外で利用している人がいずれか一方にカウントされてしまうわけだ。いずれにしてもこの2つのデータだけでは、自宅利用と自宅外利用の割合を判断できそうにない。

10. 接続形態

接続形態は図18のとおり（インプレス調査：既接続者で回答があったもののみ対象。「学校・会社」：N=583、「自宅」：N=713。図16で「会社と自宅の両方」の回答者はいずれの対象ともなる）。「学校・会社」関係では「専用線」が5割を超えるが、「電話（アナログ）回線ダイヤルアップ」「ISDNダイヤルアップ」といったダイヤルアップIP接続の形態も合わせて46%に達している。こうした組織は現在、状況を見ている段階と思われ、場合によっては今後、専用線に移行することも考えられる。96年2月に郵政省が発表した「平成7年度通信動向調査」にも、インターネット利用企業119社のうち43.1%が「とりあえず様子を見ている」との報告がある（図19）。

一方「自宅」では当然のことながら、ダイヤルアップIP接続が圧倒的に多いという結果になった。ただ、ここで注目されるのは「ISDNダイヤルアップ」が5%いることだ。このことは既存の「電話（アナログ）回線ダイヤルアップ」（94%）では満足できない利用者層が、広がりつつあることを予感させる。

なお「学校・会社」「自宅」を合わせた割合は「専用線」25%「電話（アナログ）回線」69%「ISDN」5%となり、図20（CSJ調査。N=2,503）とかけ離れた結果が出た。これも9で説明した「接続」の違いによるものと思われる。

第3章インターネットの現状
インターネット利用者の実像と利用状況

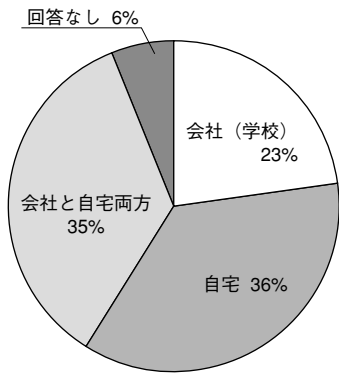


図16 インターネットの接続場所 (I)

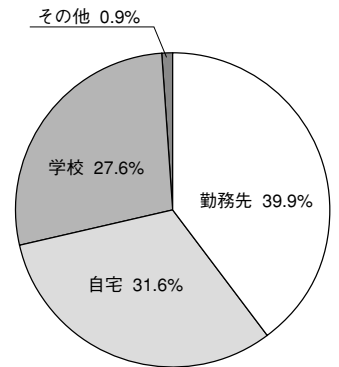


図17 インターネットの接続場所 (C)

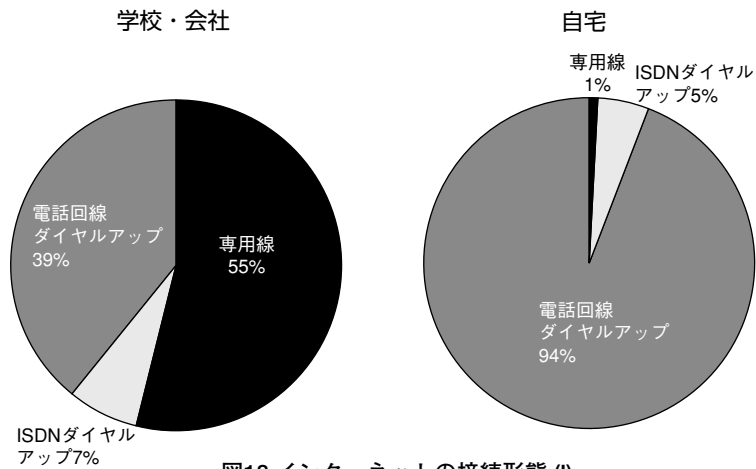


図18 インターネットの接続形態 (I)

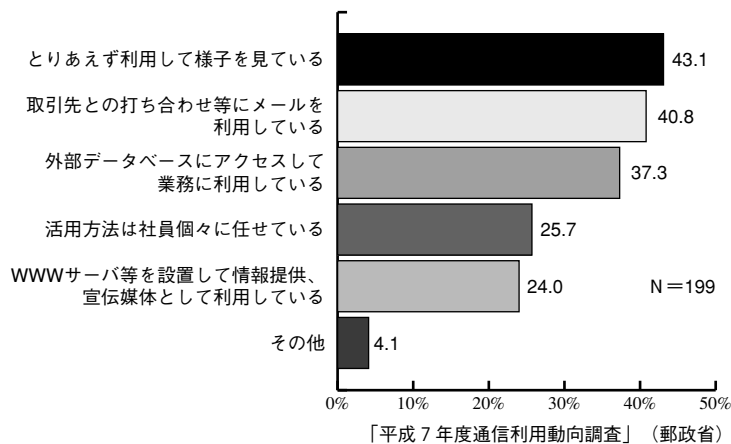


図19 企業によるインターネットの用途 (複数回答)

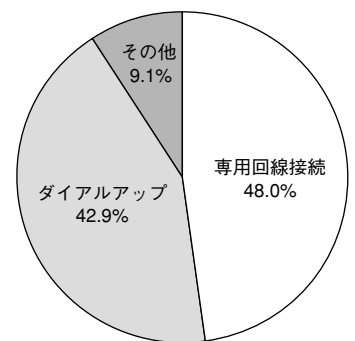


図20 インターネットの接続形態 (C)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp